

六八新聞

2018年6月22日
第1号

第68回 日本医学検査学会 実行委員会 発行
この新聞は2019年5月18～19日に下関で
開催される、第68回日本医学検査学会について
の情報発信を目的としています。

HP: 準備中

facebook: 学会名で検索

皆さん、はじめまして。この度、第68回日本医学検査学会（以後、下関学会）に関する情報を本新聞で発信することが実行委員会です。本紙を担当させていただき、副実行委員長 安岡佳成です。

何が話し合われているのか、何をしようとしているのかといったことは勿論ですが、いったいどういった人が学会運営に携わっているのか、その人となりや迫るなど、通常ではあまり知り得ないような面白い情報も発信していきたいと思っております。

そして、本紙を通して皆さんが下関学会を身近に感じて頂けたら、こんなに嬉しいことはありません。できるだけ多くの情報を発信していきたいと思っております。発行自体は不定期となりますが、毎号手にとって読んで頂けたら嬉しいです。

学会視察とPR

5月12～13日に静岡県浜松市で開催された第67回日本医学検査学会に視察と次期開催県としてPR活動に参加してきました。

視察では会場の使い方や誘導の仕方など、非常に多くのことを学ぶことが出来ました。

PR活動では前日から準備を行いました。前日はPRブースの設置と配布物2千袋を準備したのですが、袋詰が大変でした。腰の悲鳴を聞きながら、8人で黙々と続けること2時間！作業が終わったときは自然と拍手が上がり、ハグをする人も。（一部脚色あり）この連帯感があれば下関学会成功は間違いないと確信しました。翌日からはPR活動本格始動。5百枚準備したアンケートは全て終わり、配布物もほぼ配り終えました。参加者からは「下関、遠いなあ」という声が聞こえ、如何に参加してもらえない学会にするかが重要であると感じました。そ

して、無言でスルーされ続けたときの精神的ダメージの大きさ！街中でティッシュ配りをしている人には優しく断るか、受け取ってあげようと決心しました。



2千袋準備中！



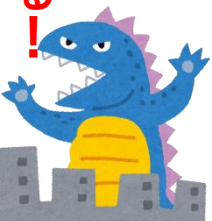
盛況なブース



ブース前にて。右から、ちよるる、渋谷会長、萩にゃん、榎林実行委員長。

次号 日臨技視察団現る！

先日、日臨技副会長をはじめ、総勢3名の視察団（？）が来関。会場となる全ての施設を蹂躪する日臨技視察団！果たして下関会場の運命はいかに？次号、乞うご期待！



今号のひとこと

六八新聞が新たに発行されるということにちなんで。皆さん、最近何かはじめましたか？またははじめる予定はありますか？

私の息子は小学生生活がはじまり、妻は塗り絵をはじめました。新しいことをはじめるのは心地よい緊張感があったり、気分転換になったりしていいですね。思い立ったが吉日。とりあえずやってみる。これは大事です。（安岡）